

令和五年度別府市小・中学生「人権作文」入賞作品

別府市長賞

「違いを認め合う」

別府市立別府西中学校一年 大本 はな

自分が他の人と違うと感じた時、恥ずかしいと思ってしまうことが時々あります。何
で恥ずかしくなるんでしょうか。前はあまり気にならなかったのに、今は他の人にどう思
われるか不安になってしまいます。これは、二年前日本に引っ越した時から思うようにな
りました。

日本の学校に行き始めた時、私はランドセルを持っていなかったもので、リュックサッ
クで通学していました。最初は何とも思わなかったけれど、一か月後には自分もランド
セルが必要と思うようになりました。なぜなら、周りの人に「なんであの子だけリュック
で学校に来てるんだろう?」と思われる気がしたからです。直接聞かれたこともあつ
たし、私のリュックをじつと見てる人もいました。自分だけが違うことが恥ずかしくな
りました。そしてランドセルを買ってもらいました。ランドセルで通学するようになって
私は安心しました。みんなと一緒にだと思いました。

私が生まれ育ったカナダは「移民の国」と呼ばれています。世界中の色んな国から
来た人々が暮らしています。私のカナダの学校のクラスメイトたちは、髪や肌の色が
バラバラだし、家で話す言語も色々でした。だから私にとって人と違うということは当
たり前でした。違うということとはかっこいいと思っていたけれど、日本で暮らすようにな
って、恥ずかしいことになった気がします。

六年生の時、算数のプリントを先生に丸つけてもらっていると、先生にこう言わ
れました。「この書き方だとバツになってしまう可能性があるから、こう書いた方がいい

よ。」私は数字の七を「チ」と書いていました。カナダではこの書き方が普通でした。けれど日本では「7」と書くのが普通で、私の書き方だとカタカナの「ヌ」と間違われると先生はおっしゃっていました。理由は理解できたけれど、自分の普通を日本の普通に変えなければいけないことに腹が立ちました。

日本の学校に通って、自分の普通と日本の普通は違うことに気づきました。日本にはルールや決まりがたくさんあって、たとえいやでも自分の考えや習慣を変えないといけないことがたくさんありました。日本で暮らしていくためには、日本のルールや決まりを守らないと、社会で「変な人」と思われてしまうからです。

私は「変な人」と思われたくないです。自分が他の人と違うと不安な気持ちになってしまいます。前は違うということはその人の個性でかっこいいことだと思っていたけど、いつの間にか恥ずかしかったり、不安な気持ちになってしまったりすることだと感じるようになってきました。自分を周りに合わせながらだんだん変えていくと、自分の個性がなくなってしまう。じゃあどうすればいいのでしょうか？ちよつと考えてみました。

周りの人にどう思われるかばかり気にしていると、自分が本当になりたいことがわからなくなってしまう。人間はそれぞれ違っていて当たり前で、だからそのことを理解する必要があります。そうすれば恥ずかしいと思う気持ちや不安なことが少なくなると思っています。例えば、体が大きい人もいるし、小さい人もいます。人としゃべることが得意な人もいれば、苦手な人もいます。それらをみんながそれぞれの個性として認め合えば、もっとみんなが楽しく暮らせるようになると思います。

これから先、自分が他の人と違うと感じた時には、恥ずかしいと思わずに、これは自分の個性だと思うようにしたいです。私は、他の人の違いを認めたいです。周りの人たちも私の違いを受け入れてくれるといいなと思います。